

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ことのはプラス-彩り-石垣教室				公表日	令和 8年 4月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	・十分な広さが確保されており、利用人数や活動内容により、和室・運動スペース、室内・室外と使い分ける工夫を行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・時給制の職員で人数の調整をして、児童数に足りる配置を行っております。 ・個別に対応が必要な児童に職員のサポートをつける事が出来ております。	・【個別が必要な児童】と【少人数グループで対応出来る児童達】に適切な人員配置を行うなど、こどもの状態等に対しての人員配置も意識していきます。(配置基準は満たしており、児童の状態に応じての人員配置を意識していきます。)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	・写真やイラストを貼って、児童が視覚的にわかりやすいように工夫しております。 ・玄関やトイレ等、多少段差はありますが、活動スペースに関してはフラットになっております。	・壁のクッション材がはがれてくるなど、設備等の老朽化が見られた際は、速やかに補修を行い、環境整備に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	・毎日の掃除と換気、おもちゃの消毒なども行っております。また、運動スペースと座って取り組むスペースを分け活動に合わせた空間作りを心掛けております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	・児童の様子や活動内容によって、活動スペースを工夫して使用しております。	・クールダウン出来る個別の場所の確保や個別で集中出来るように仕切れるパーティションの購入などを検討していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	・昼礼、終礼のいずれかで目標設定の確認や意見交換を行っております。	・振り返りの時間は確保出来ているので、目標設定を今以上に共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・保護者等の意見等を職員とミーティングで共有し、意見を出し合って実施する事で業務改善に繋げております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・日々のミーティングや管理者との面談にて意見を交換する機会があり、共有や改善に繋がるよう工夫できていると感じます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0	・外部評価を行ってはいませんが、社内評価を行い業務改善に繋げております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・研修の案内や機会を設けており、みんなが意識を高め、自己研鑽に励む事が出来ております。	・研修を受講できなかった職員に対しての情報共有などを行い、今後も職員全体のスキルアップを目指していきます。
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・ホームページで公表し、保護者様に対しては契約時に支援プログラムの説明を行っております。	・ご利用者様のニーズに応じた内容を反映し、適宜見直しを行いながら運用していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	・ニーズや課題を必要に応じて見直し、客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・職員の聞き取りをした上で、児童発達支援計画が作成されております。	・職員全員が共通理解するというのは、まだ出来ておりませんが、今後は時間を確保しつつ共通理解する場が増えるように努めていきたいです。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・児童発達支援計画は職員間で共有され、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	・日々の記録用紙がチェック項目+記述となっているので、アセスメントは取れていると感じております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で具体的な支援内容を設定しております。	・実際の支援が計画に沿って行われているかを定期的に振り返り、必要に応じて改善していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・プログラム立案の担当を決めず、みんなで考えるようにしております。	・今後も意見交換と振り返りを行い、必要な改善を図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・日替わりで担当する職員を変える事で、プログラムが固定化しないように工夫しております。 ・児童の直近の様子も踏まえて活動プログラムを組む事もあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・児童の状態に合わせて、個別が良いのか、小集団活動で他児との交流を援助していく方が良いか等を考えて支援を行っております。	・児童の状況に応じた柔軟な対応が出来るよう、職員間での情報共有を更に強化していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・毎日、朝礼で役割分担について確認し、より良い支援について話す事が出来ています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	・昼礼・終礼で振り返りを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・記録を残し、お休みの職員にも支援前に確認出来るよう工夫しております。 ・記録をとる事で、様子を振り返り、支援の改善にも努めております。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断し、適切に対応しております。	・状況に応じた柔軟な見直しを徹底し、より効果的な支援が提供出来るように改善していきます。	
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	・管理者や児童発達支援管理責任者、関わりが多い職員などが参加し、こどもの状況をよく理解した上で、適切な情報提供と支援方針の共有を行っております。	・より詳細な情報やこどもの状況に基づく具体的な提案を行う為、会議前に職員間での情報交換を更に強化していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2	・各関係機関と情報共有を行い、連携して支援を行える体制を整えております。	・セルフプランで相談員さんが少ない事もあり、今後も園等の関係機関との連携を深めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・必要に応じて園等との情報共有や相互理解を図っております。また、実際に園等の先生に事業所へ来て頂き、支援の様子なども見てもらっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2	・就学してから小学校や特別支援学校と支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。	・就学時の移行の際の情報共有と相互理解は、対象児全員に行えていないので、今後は情報共有と相互理解が出来るような体制作りを整えていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					

の 連 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	13		・現在、石垣市に児童発達支援センターはございません。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11		・これまで交流はございませんが、今後は職員間でどのような活動が出来るのかを話し合い、交流の機会を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・送迎時やオフィシャルLINEで日々の活動の様子をお伝えし、成長の喜びを共感しております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	8	・事業所開催の研修やプログラムはまだございませんが、地域の情報などは随時お知らせしています。	・家族支援プログラムや家族等の参加出来る研修の機会を設ける事が出来ていない為、今後実施出来るように検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約時に管理者より保護者様へ説明を行っております。	・契約時に説明を行っておりますが、利用者負担額が変更(なった)際は再度説明が必要。今後も必要に応じて保護者様へ説明を行っていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	・管理者と保護者様で話した内容を職員にも共有しております。	・保護者様や児童の意向を基に児童発達支援計画を作成しつつ、定期的に関わりを行いながら更新してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	・支援内容について、保護者様に具体的な説明を行い、納得してもらったうえで同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・計画書の更新時期や悩み相談があった際に面談や助言などを行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	10	・世界ダウン症の会へのイベント協賛を行うなど、保護者様からご相談やご提案があれば、可能な限り対応しております。	・保護者様やきょうだい同士での交流する機会はまだまだございませんが、今後は交流する機会も検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・こどもや保護者様から相談や申し入れがあれば、対応の体制を整備し、迅速かつ適切に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	・オフィシャルLINEを活用して日々の活動内容や児童の様子を保護者様に発信しております。	・ブログやInstagramの更新が定期的に行えていないので、今後は定期的に行えるよう改善を図ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・個人情報の保護に関するガイドラインに基づき、情報管理を徹底しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・障害のあるこどもや保護者様に伝わりやすくする配慮(話し方や説明の仕方などの工夫)を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9		・今後は、事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域との繋がりを深める活動を行ってまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・各マニュアルを作成しており、訓練も実施しております。	・マニュアルの見直しや実践的な訓練を今後も行っていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	2	・様々な災害を想定し、訓練を定期的に行っております。また、それぞれの災害に合わせた対応はどれが最適なのかを職員で議論し、訓練に活かしております。	・安全性を確保する為、設備の点検や計画の更新を定期的に行い、ご利用者様に適した支援計画を策定してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	・契約時に確認しております。また、保護者様から追加で情報提供があれば、その都度職員で情報の共有を行っております。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	・現在、食物アレルギーのある児童は在籍していません。	・今後、食物アレルギーのある児童が入ってきた場合には、事前に職員間で情報を共有し、おやつ提供や調理の際にも再度確認するように努めてまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	・安全計画を作成しており、事務所にて保管しております。	・研修が未実施の為、今後検討してまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	・安全計画に基づく取り組み内容を保護者様に周知し、子どもの安全確保に向けた協力体制を築けるように努めております。	・保護者様に対して、より理解度を深めてもらえるよう資料配布等を通じて、情報伝達を行ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・ヒヤリハット事案があった日に内容の共有と再発防止の為に検討を行っております。	・今後は会社（法人）全体のヒヤリハットの振り返り等を行い、同じような事案が発生しないような体制づくりを行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・研修動画の視聴や情報の共有などを行っております。	・虐待の未然防止を図る為、管理者や児童発達支援管理責任者と体制を活用しながら、相談しやすい環境作りを進めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	4	・身体拘束を行う場合の基準を組織的に定め、マニュアルを作成し、適切に運用しております。（身体拘束の事例が発生した際には法人内の身体拘束適正化委員会にて対応を協議しております）	・今後、拘束の必要性が生じた場合は、マニュアルに基づき、人権に配慮した適切な方法で拘束を行う事とし、報告・連絡を徹底してまいります。